

第 5 回吹田市地域公共交通会議 議事要旨

1 日 時 令和 3 年 3 月 26 日（金） 15 時 00 分から 16 時 30 分

2 場 所 吹田市文化会館（メイシアター）展示室

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ウェブでの会議も併用

1. 開会

○事務局

第 5 回吹田市地域公共交通会議開会のあいさつ。

2. 議事

○事務局

《資料 2、資料 3 を説明》

○委員

運賃 100 円を求める声がかかなり多い。全区間の利用で 200 円は妥当かと思うが、短い区間を乗車するならば低料金が好ましい。運賃を 200 円に設定することで利用者が減り、乗車率、収支率に悪い影響が出ることを危惧している。

○委員

100 円で 1 区間乗車できることは住民にとって大きなメリットである。

○会長

私の経験では料金を半額にすることで、利用者が倍になるとは思えず収支率 30%に収まるか難しいと思う。また料金について、必ずしも距離のみが交通手段の運賃を決める要因ではない。

○事務局

既存のすいすいバス、バス会社の料金の観点から、200 円は妥当と考えている。

○委員

距離制運賃は単純な経路でないと距離に応じた運賃が難しく、私どもが吹田地域で採用している均一料金が望ましいと思う。

○会長

このバスを 100 円にすると、すいすいバスも 100 円にして欲しいという声はあがると思う。

○事務局

すいすいバスでは回数券等のサービスがあり、1 枚あたり 167 円と少し得なサービスになっている。すいすいバスと同じサービス水準になるように事業者を選定したいと思う。

○委員

料金を設定する上で既存の公共交通との整合性が必要である。100 円で緑地公園に行けるようになると、阪急バスに乗ることをやめ、緑地公園から電車に乗り換えることになり、少なからず既存のバスに影響が出ることを考慮して欲しい。

○副会長

運賃の問題を千里山で議論すると、千里丘はどうするのか、この問題は市に持ち帰り検討しないといけない。どうしても 200 円ということであれば、スケジュールの見直しが必要であり、試験運行は予定通りに行えない。まずは試験運行を始めるのがいいかと思う。

○会長

先に今後のスケジュールの説明を受けてから、どのようにするか決めたいと思う。

○事務局

《資料4を説明》

○会長

資料4によると、運賃の検討を行えば、事業者選定が後ろにずれ、令和3年の試験運行開始が厳しくなる。試験運行は運賃200円で行い、運賃100円の可能性を残し進めていきたい。

○委員

継続条件の収支率、乗車率はコロナ前の数値の為、コロナ禍の影響で達成が難しいと思うが、どのように対応されるのか。

○事務局

収支率30%かつ乗車率60%というのは総合的に判断する際のひとつの基準であり、改善を計るための目安です。コロナ禍で全体の乗車数が下がっていることについては、導入の際、考慮できる部分と考えている。

○委員

すいすいバスの収支率、乗車率等の数値を把握しているのであれば、参考までに確認したい。

○事務局

令和元年度ですいすいバスの乗車率は112.4%、収支率は51.4%である。

○委員

コロナ後の数値はないか。

○事務局

1月時点ぐらいで算出した見込みのデータでは収支率30%は何とか確保が行え、乗車率は70~80%と思われる。

○会長

収支率30%、乗車率60%の目標を達成することは容易ではない。令和5年度コロナがどういう状況かということを見極めながら議論していただければと思う。

○委員

まずは運賃200円で乗り、現実にバスを走らせることを考えなければ空論で終わると思う。今までバスが行けない場所にバスを走らせている為、200円でも問題ないと思う。

○委員

運賃について利用者にとって安いほうがよいと思うが、これまで何十年もここには交通がない不便なところだということは認識している。まずはバスを運行していただく、試験運行から本格運行にもっていくことが一番の目的だと思う。地区の方にはとにかく乗車していただき、乗車率を上げることを広報していきたいと思う。

○事務局

《資料5説明》

○会長

先ほど御説明にもありましたように、千里山地区等コミュニティバスの名称は「すいすいバス」とし、ルート名は地域特色を出し、最終的には市で決めるということです。詳細のルート名や特色の付け方については、地域の方に御相談あると思いますので御協力よろしく申し上げます。

○事務局

今回の千里山地区のバスに限ってですが、コロナ禍ということを考慮し、市民の方から意見を受ける

ような体制をホームページ等で公表していました。その結果、いただいた意見は特になことを報告いたします。

3. 閉会

○事務局

第5回吹田市地域公共交通会議閉会のあいさつ。